



国民の森林・国有林

中部森林管理局

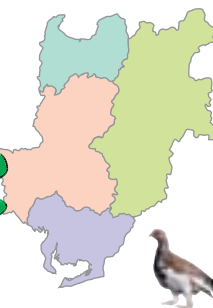
〒380-8575長野市大字栗田715-5

☎050-3160-6513

<http://www.chubu.kokuyurin.go.jp/>

広報

中部の森林



平成18年度新規採用職員

明日の国有林を担う若い力 フレッシュマンをよろしく!!

(P 3～4 に関連記事)

主 な 項 目	○人のうごき (人事異動) 2～8
	○森林ふれあい講座 8
	○各地からのたより 9・10



この広報誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。

新任幹部挨拶

新森林整備部長

瀬戸口 満



この度四月一日付けの異動により森林整備部長を拝命しました瀬戸口でございます。中部森林管理局管内の勤務は初めてとなりますが、歴史と伝統ある当局の一員として勤務できることを光栄に思いますとともに、皆様とともに頑張っていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

私は生まれが鹿児島で、毎日桜島を見ながら育ちましたが、振り出しが旧前橋局だったこともあり、若い頃から長野県には足を運んでおりましたし、近年は、以前から憧れていた北アルプスの穂高岳、白馬岳等の登頂を実現させたこともあり、仕事以外では多少のなじみがあります。管内の四県、ともに山や森林等自然環境の豊かな所ですので、ここで仕

事ができることを嬉しく思うと同時に、五年ぶりの国有林勤務となることもあり、早く地域の状況、国有林現場の状況を知ることから始めていきたいと考えています。

さて、国有林野事業は平成十一年度からの抜本的改革への取り組みを推進し、十六年度からは新生国有林として新たな借金に依らない事業運営に取り組んでいる中で、国民の森林「国有林」としての適切な管理経営に努めるとともに、林産物収入等の自己収入の確保が重要となっております。

このため、森林の有する多様な公益的機能の発揮のために必要な森林の維持管理や森林整備、治山事業等の適切な実施を通じて森林の公益的機能の維持増進に取り組むとともに、自己収入ということでは木材価格が低迷している中で、木材の重要拡大や林産物収入の増大につながるよう、知恵を出しながら工夫と努力を重ねていくことが重要と考えています。

いろいろな課題に取り組み、国有林の使命を果たし円滑な事業運営を行っていくためにも、健康で明るい職場環境が必要です。そのことを私自身も心がけ、努力したいと考えておりますのでよろしくお願いします。

◆瀬戸口森林整備部長の略歴

生年月日	昭和31年2月18日
本籍	鹿児島県鹿児島市
略歴	鹿児島大学農学部林学科卒（S54・3）
昭54・4	林野庁林政課採用
62・4	農林水産省経済局国際企画課国際専門官
平元・4	熊本局沖縄営林署長
44・4	熊本局企画調整室長
66・8	建設省住宅局住宅生産課課長補佐
77・8	東京局森林整備課長
99・10	林野庁森林組合課課長補佐
11・7	東北局計画課長（青森分局）
13・5	緑資源公団収穫課長
15・10	水源林企画課長
16・4	（独）緑資源機構計画評価部次長
18・4	中部局森林整備部長

お世話になりました。

前森林整備部長

高畑 博之

四月一日付けをもって関東森林管理局静岡森林管理署へ転任しました。平成十五年八月から二年八ヶ月にわたり、計画部長、森林整備部長と

して、歴史と伝統ある中部森林管理局に勤務させていただき、公私ともに大変楽しく過ごさせていただきました。これも、皆様方の温かいご支援ご協力の賜と厚くお礼申し上げます。

この間、取り組んだ最大の事項としましては、やはり中部局の統合があります。かつて、古川営林署に二年間勤務したことがありましたが、多少の土地勘はありましたが、違った局が一つになるということは大変なことだと実感しました。まだ、完全にはなっていないかもしれませんが、これから真の統合を目指して着実に歩んで欲しいと願っています。

計画部長時代では、まず、統合後、初の宮・庄川計画区の計画編成が印象に残っています。また、木曽森林環境保全ふれあいセンターの設置に関する林野庁との折衝や自然再生事業として木曽駒ヶ岳、伝上川の植生回復等にも取り組みました。

古事の森をはじめ、道祖神祭りの森の設定、さらに、関田山脈ロングトレイルの協定締結も記憶に残る事業でした。楽しい思い出としては、職員の皆様をはじめ多くの方々の協力を得て、絵本「なべくら山の森太郎」やガイドブック「北信濃の森を歩こう」を出版することも出来まし

た。

森林整備部長時代には、はじめて木曽ヒノキを生産・販売するという経験을させていただきました。また、善光寺さんの三門の屋根を葺くための天然サワラの供給にも関わりました。解体修理中の三門を案内していただき、あの鳩文字の大きな額を間近で見たり、曲がった材木をうまく組み合わせて使った先人の知恵を見ることができました。

幸いなことに、御先祖始祭や斧入れ式、また、御柱祭りなど、二十年、六年に一度の行事に参加する機会を得ることも出来ました。

また、民有林直轄治山事業に関しては溪流環境調査の実行に取り組み、民直検討委員会の取りまとめにも参画することが出来ました。伐採系森林整備も、ここ一年間でようやく形が出来てきましたが、これから局・署・森林事務所が一体となつて取り組んでいただくことを期待しています。

仕事を離れても、週末には北・中央・南アルプスや長野市近郊の山に登ったり、スノーシューで関田山脈を歩く機会に恵まれ、お陰様で管内の大自然を堪能させていただきました。

新しく勤務します静岡森林管理署

は、南信森林管理署と南アルプス光岳で接するなど関連もありますので、今後とも引き続きよろしく願い申し上げます。

終わりに、中部森林管理局の益々の発展と職員の皆様のご健勝・ご活躍を祈念し、離任のご挨拶と致します。どうもありがとうございました。

新規採用者の紹介

どうぞよろしく
お願いします。



- ①出身地
- ②趣味・特技
- ③社会人になったの抱負

平成十八年四月、十二名(Ⅲ種七名、Ⅱ種四名、二月採用一名)の新規職員が採用となり、それぞれの森林管理署等に配属され、社会人としての第一歩を踏み出しました。新規採用者の皆さんからの抱負等を紹介します。

☆Ⅲ種採用



にしかたゆういちろう
西方雄一郎
(木曾署)

- ①長野県下高井郡
- ②スキー、サッカー
- ③公務員としての自覚をしっかりと持ち、仕事を頑張っていきたい。



ちむらともひろ
千村知博
(愛知所)

- ①長野県木曾郡
- ②卓球、散歩、けん玉
- ③今までの学生としての立場とは全く違うので、責任を持って何事にも行動したい。



かわくぼ じん
川久保 仁
(飛騨署)

- ①長野県飯山市
- ②映画鑑賞
- ③笑顔を絶やさず、明るく元気に、あまり悩みすぎず何事も失敗を恐れず挑戦したいです。



おかざきしんご
岡崎真吾
(南信署)

- ①岐阜県郡上市
- ②健康維持促進のためのウエイトトレーニング
- ③上司、先輩の方様に社会人、公務員としての誇りと責任を持ち、純粋で元気な社会人になりたい。



まつばらまさし
松原正志
(南木曾支署)

- ①岐阜県高山市
- ②卓球、釣り
- ③私は、社会のルールと共に、公務員としてのルールを守っていきます。



はらだあきよし
原田剛克
(東濃署)

- ①愛知県北設楽郡
- ②ペーパークラフト
- ③森林官や先輩方を見習い、現場や事務所の仕事を早く覚えて早く一人前になれるように頑張りたいです。



あさこりゅういち
浅子竜一
(中信署)

- ①埼玉県さいたま市
- ②特になし
- ③早寝早起、一日三食、規則正しい生活を送り健康を考えていきたい。

☆Ⅱ種採用



おのづか けん
小野塚 健
(愛知所)

- ①東京都
- ②スキー
- ③一日でも早く仕事を覚えられように頑張りたいと思います。



やました ゆい
山下 結
(北信署)

- ①福岡県
- ②バドミントン、お菓子作り
- ③全てが勉強の日々になることと思っていますが、明るく元気に仕事をしたいです。



とみもとまさふみ
富元雅史
(東信署)

- ①鹿児島県鹿児島市
- ②ギターの弾き語り
- ③人を好きになり、仕事を好きになり成長すること。



ゆあさ みどり
湯浅 翠
(木曽署)

- ①三重県多気郡
- ②登山、スキー、ピアノ
- ③出会いを大切に、様々な経験を通じて自分自身を成長させていきたいです。



ふじもとあや
富士本亜弥
(岐阜署)

- ①宮崎県西臼杵郡
- ②読書、バドミントン、バレエボー
- ③新しいことを恐れずに、何にでも挑戦し、経験や出会いを大切にしたいです。

国民参加の森林づくり

下流域との「人の交流」に上松町が
国有林と分収造林契約

「国有林野管理課」木曽郡上松町は、人々が生活するのに大切な「水」を作り出す自然、森林の大切さを再認識する取り組みとして、森林整備や森林とのふれあいを通じた下流域の人たちとの交流に取り組むこととしており、その一環として、三月十七日、中部森林管理局において、当局から小緑局長、花見木曾森林管理署長が、上松町から田上町長、牧野産業観光課長が出席し、分収造林契約の調印式が執り行われました。

今回契約した分収造林地は、木曾森林管理署管内の上松町内にある小川入国有林一三九ろ林小班、四・〇一畝で、ヒノキのほかミズナラ等広葉樹を植栽する予定で、契約期間八十年となっています。

調印式では、小緑局長から「中部森林管理局が取り組み」の基本としている「水の交流」、「木の交流」、「人の交流」といった観点からも非常に意義のある取り組み」とあいさつ。田上町長からは「当町の友好自治体として提携している愛知県豊明市の子供や市民など下流域の人たちと

森林育成を通じた交流の場として、さらには木曽郡の植樹祭会場として町民を上げて取り組むと共に、赤沢自然休養林の観光事業ともタイアップし、地域の活性化に期待」とあいさつがありました。

上松町は、昭和四十三年の学校分収造林契約以降、九箇所、約五十五畝の契約がなされており、今回が十箇所目。

造林や保育等の森林整備を通じた、小中学生達の体験教育、町民と森林のふれあいの場として国民参加の森づくりに国有林を積極的に活用されており、今後の取り組みが期待されます。



契約書に調印する小緑局長(右)と田上上松町長(左)

人のうごき

林野庁人事(抄)

四月一日付

- ▽関東森林管理局静岡森林管理署長(中部森林管理局森林整備部長) 高畑 博之
- ▽中部森林管理局森林整備部長(独) 緑資源機構計画評価部次長 瀬戸口 満
- ▽中部森林管理局総務部総務課長(中部森林管理局総務部企画官) 三石 敬一
- ▽中部森林管理局森林整備部販売課長(中部森林管理局計画部企画官) 古野 照明
- ▽中部森林管理局計画部企画官(中部森林管理局企画調整室監査官(愛知森林管理事務所長)) 梶 英行
- ▽中部森林管理局企画調整室監査官(愛知森林管理事務所長) 酒井 省三
- ▽中部森林管理局計画部上席自然再生指導官(木曽森林環境保全ふれあいセンター所長) 眞田 公一
- ▽中部森林管理局飛騨森林管理署長(中部森林管理局計画部国有林野管理課長) 前原 正晴
- ▽中部森林管理局計画部国有林野管理課長(中部森林管理局企画調整室監査官(名古屋事

務所副所長)

中尾 修三

- ▽中部森林管理局企画調整室監査官(名古屋事務所副所長)(中部森林管理局計画部流域管理指導官) 飯村 清夫
- ▽中部森林管理局計画部流域管理指導官(中部森林管理局東濃森林管理署次長) 田口 一
- ▽中部森林管理局東濃森林管理署次長(中部森林管理局企画調整室企画官(業務調整担当)) 花木 英一
- ▽中部森林管理局企画調整室企画官(業務調整担当)(中部森林管理局木曽森林管理署長) 花見 隆夫
- ▽中部森林管理局木曽森林管理署長(中部森林管理局木曽森林管理署長(中部森林管理局企画調整室企画官(業務調整担当)) 柳沢 芳夫
- ▽中部森林管理局企画調整室企画官(業務調整担当)(中部森林管理局北信森林管理署長) 酒井 孔三
- ▽中部森林管理局北信森林管理署長(中部森林管理局総務部職員厚生課長) 村松 剛志
- ▽中部森林管理局総務部職員厚生課長(中部森林管理局企画調整室監査官) 洞 和雄
- ▽中部森林管理局企画調整室監査官(中部森林管理局飛騨森林管理署次長) 宮口 裕之
- ▽中部森林管理局飛騨森林管理署次長(中部森林管理局計画部計画課課長補佐) 廣田 祐一

- ▽東北森林管理局庄内森林管理署長(中部森林管理局森林整備部森林整備課長) 竹内 正比古
- ▽中部森林管理局森林整備部森林整備課長(中部森林管理局企画調整室監査官) 間瀬 國廣
- ▽関東森林管理局吾妻森林管理署長(中部森林管理局計画部森林技術センター所長) 田尻 明彦
- ▽中部森林管理局計画部森林技術センター所長(中部森林管理局企画調整室監査官) 中島 仁司
- ▽中部森林管理局企画調整室監査官(中部森林管理局北信森林管理署次長) 土屋 正泰
- ▽中部森林管理局北信森林管理署次長(中部森林管理局企画調整室管理官兼名古屋事務所) 高見 公一
- ▽中部森林管理局出向(計画部付名古屋事務所)(中部森林管理局総務部経理課長) 佐野 通
- ▽中部森林管理局総務部経理課長(中部森林管理局企画調整室企画官(業務調整担当)) 大屋 孝好
- ▽中部森林管理局企画調整室企画官(業務調整担当)(九州森林管理局長崎森林管理署長) 都留 浩明
- ▽近畿中国森林管理局森林整備

- 部販売課長(中部森林管理局木曽森林管理署南木曽支署長) 松本 誠司
- ▽中部森林管理局木曽森林管理署南木曽支署長(中部森林管理局南信森林管理署次長) 小林 伸一
- ▽中部森林管理局南信森林管理署次長(農林水産省大臣官房協同組合検査部検査課協同組合検査官) 佐光 仁
- ▽四国森林管理局森林整備部森林整備課長(中部森林管理局企画調整室監査官) 傳村 充善
- ▽環境省出向(中部地方環境事務所野生生物課長)(中部森林管理局森林整備部企画官) 所 芳博
- ▽中部森林管理局森林整備部企画官(中部森林管理局企画調整室監査官) 中山 春樹
- ▽近畿中国森林管理局石川森林管理署次長(中部森林管理局中信森林管理署次長) 辻本 和夫
- ▽中部森林管理局中信森林管理署次長(近畿中国森林管理局滋賀森林管理署次長) 川瀬 良二
- ▽中部森林管理局木曽森林管理署次長(中部森林管理局木曽森林管理署次長) 小木曾 基雄
- ▽林野庁国有林野部業務課企画官(中部森林管理局企画調整

- 室管理官) 大藏 克育
- ▽中部森林管理局企画調整室室長補佐(林野庁国有林野部業務課地域振興・分収林班活用指導係長) 丸山 和久
- ▽林野庁国有林野部職員・厚生課(中部森林管理局東信森林管理署大門森林事務所森林官) 石塚 富貴子
- ▽中部森林管理局東濃森林管理署治山課治山第二係長(林野庁林政部林政課人事班秘書係) 奥田 紀子
- ▽中部森林管理局木曽森林管理署南木曽支署林務課森林官(林野庁林政部林政課総務班調整係) 角屋 圭祐
- ▽中部森林管理局森林整備部治山課中川治山事業所主任(伊那谷総合治山事業所)(林野庁森林整備部治山課企画班企画係) 宮前 崇
- 三月三十一日付
- ▽退 職(中部森林管理局総務部総務課長) 西尾 正
- ▽退 職(中部森林管理局森林整備部販売課長) 三尾 秀一
- ▽退 職(中部森林管理局計画部上席自然再生指導官(木曽森林環境保全ふれあいセンター所長) 鷹野 正美
- 中部森林管理局人事
- 四月一日付
- ▽局計画部計画課課長補佐(局企画調整室室長補佐) 上條 浩明

▽局企画調整室管理官兼南信森林管理署（環境省中部地方環境事務所野生生物課長）

宇野 初男

▽東信森林管理署大門森林事務所森林官（計画部国有林野管理課森林利用係） 井澤 恵夫

▽農林水産省農林水産技術会議事務局研究開発課企画調整班企画調整係長（木曽署南木曽支署業務課長） 中尾 昌弘

▽木曽森林管理署南木曽支署業務課長（局森林整備課企画係長） 加藤 孝

▽局森林整備課企画係長（局森林整備課造林係長） 花川 浩

▽局森林整備課造林係長（木曽署南木曽支署柿其森林事務所森林官） 岩間 哲士

▽環境省中部地方環境事務所長野自然環境事務所生物多様性保全企画官兼野生生物課課長補佐（局企画調整室管理官兼国有林野管理課） 林 直樹

▽森林技術総合研修所経営研修課調整係長（局企画調整室調整官（業務担当愛知森林管理事務所） 田畑 良輝

▽局企画調整室調整官（業務担当愛知森林管理事務所） 局企画調整室連絡調整官（連絡調整担当名古屋事務所） 筒井 雅敏

▽企画調整室連絡調整官（連絡調整担当名古屋事務所）（東濃

署業務第一課長） 松田 恵

▽東濃森林管理署業務第一課長（局指導普及課緑の普及係長） 北村 大

▽計画部指導普及課緑の普及係長（東信署業務第一課長） 野口 和幸

▽東信森林管理署業務第一課長（東信署業務第二課長） 荻原 育夫

▽東信森林管理署業務第二課長（環境省中部地方環境事務所野生生物課課長補佐） 千葉 求

▽森林技術総合研修所総務課會計係長（東信署業務第一課経営係長） 横坂 康晴

▽東信森林管理署業務第一課経営係長（森林技術総合研修所経営研修課専攻科研修生） 小野田 大

▽森林技術総合研修所経営研修課専攻科研修生（木曽署治山課王滝治山事業所主任） 近江澤 利美

▽木曽森林管理署治山課王滝治山事業所主任（北信署治山課治山第四係長） 百瀬 裕章

▽北信森林管理署治山課治山第四係長（木曽署瀬戸川森林事務所） 秋田 顕二

▽森林技術総合研修所経営研修課専攻科研修生（木曽署南木曽支署業務課森林ふれあい係長） 森田 武士

▽木曽森林管理署南木曽支署業

務課森林ふれあい係長（木曽署業務第二課販売係） 末安 桂

▽森林技術総合研修所経営研修課専攻科研修生（東濃署岩村森林事務所森林官） 服部 忠博

▽東濃森林管理署岩村森林事務所森林官（飛騨署秋神森林事務所森林官） 原田 昌弘

▽飛騨森林管理署秋神森林事務所森林官（北信署野沢森林事務所森林官） 塚中 彰

▽北信森林管理署野沢森林事務所森林官（北信署業務課森林ふれあい係長） 田中 学

▽北信森林管理署業務課森林ふれあい係長（局企画調整室企画調整係） 吉村 博幸

▽森林技術総合研修所経営研修課専攻科研修生（中信署波田森林事務所森林官） 甲斐 晴久

▽中信森林管理署波田森林事務所森林官（南信署駒ヶ根森林事務所） 井出 崇彦

▽森林整備部販売課（上席）技術指導官（販売担当名古屋事務所）（局企画調整室連絡調整官（総務担当名古屋事務所）） 柴山 健二

▽企画調整室連絡調整官（総務担当名古屋事務所）（局経理課経理係長） 松本 邦昭

▽総務部経理課経理係長（東濃署総務課経理係長）

竹之内 英夫

▽東濃森林管理署総務課経理係長（局経理課企画係主幹（会計・経理担当愛知森林管理事務所）） 鈴木 智晴

▽総務部経理課企画係主幹（会計・経理担当愛知森林管理事務所）（田口森林事務所（愛知森林管理事務所）） 藤井 理絵

▽田口森林事務所（愛知森林管理事務所）（局販売課（収獲担当愛知森林管理事務所）） 下城 大作

▽森林整備部治山課調整指導係長（局治山課審査係長） 中澤 敏雄

▽森林整備部治山課審査係長（局治山課技術指導官（治山担当名古屋事務所）） 梅田 英孝

▽森林整備部治山課技術指導官（治山担当名古屋事務所）（飛騨署治山課長） 曾我 義孝

▽飛騨森林管理署治山課長（局治山課中川治山事業所主任（伊那谷総合治山事業所）） 松井 健太郎

▽森林整備部治山課中川治山事業所主任（伊那谷総合治山事業所）（林野庁森林整備部治山課企画班企画係） 宮前 崇

▽東信森林管理署業務第一課間伐推進企画官（東信署八ヶ岳森林事務所森林官） 由井 克彦

▽東信森林管理署八ヶ岳森林事務所森林官（局森林技術セ

ンター業務係長） 長屋 和幸

▽計画部森林技術センター業務係長（富山署砺波森林事務所森林官） 藤嶋 文博

▽富山森林管理署砺波森林事務所森林官（富山署業務課森林育成係長） 山田 昭仁

▽富山森林管理署業務課森林育成係長（富山署業務課管理係長） 米澤 義則

▽富山森林管理署業務課管理係長（富山署業務課森林ふれあい係長） 中屋 健次

▽富山森林管理署業務課森林ふれあい係長（森林技術総合研修所経営研修課専攻科研修生） 林 隆洋

▽南信森林管理署業務第二課販売係長（東信署真田森林事務所森林官） 井上 元晴

▽東信森林管理署真田森林事務所森林官（木曽署北滝越森林事務所森林官） 吉村 充

▽木曽森林管理署北滝越森林事務所森林官（局森林整備課企画係） 大崎 幸生

▽北信森林管理署業務課販売係長（北信署水内森林事務所森林官） 志賀 剛

▽北信森林管理署水内森林事務所森林官（中信署業務課管理係長） 原田 光基

▽中信森林管理署業務課管理係長（木曽署業務第一課管理係長） 永井 禎恵

▽木曽森林管理署業務第一課管

- 理係長（木曽署駒ヶ岳森林事務所森林官） 佐藤 傑
- ▽木曽森林管理署駒ヶ岳森林事務所森林官（東信署佐久平森林事務所） 吉村 芙美子
- ▽飛騨森林管理署業務第二課販売係長（飛騨署大谷森林事務所森林官） 村木 英徳
- ▽飛騨森林管理署大谷森林事務所森林官（岐阜署小坂森林事務所） 遠山 恵一
- ▽森林整備部治山課伊那谷総合治山事業所技術専門官（南信署業務第二課長） 白子 和広
- ▽南信森林管理署業務第二課長（局治山課伊那谷総合治山事業所技術専門官） 上原 勇
- ▽北信森林管理署総務課経理係長（東信署総務課経理係長） 神島 雄治
- ▽東信森林管理署総務課経理係長（木曽署南木曽支署総務課経理係長） 小林 雄一
- ▽木曽森林管理署南木曽支署総務課経理係長（北信署総務課経理係長） 上原 加奈子
- ▽東信森林管理署業務第一課技術専門官（東信署業務第二課技術専門官） 入交 信太
- ▽東信森林管理署業務第二課技術専門官（森林技術総合研修所経営研修課専攻科研修生） 関 諭
- ▽東濃森林管理署治山課技術専門官（岐阜署治山第二課治山第一係長） 山田 英人
- ▽岐阜森林管理署治山第二課治山第一係長（木曽署治山課治山第二係長） 掛部 晋
- ▽木曽森林管理署治山課治山第二係長（局総務課人事係） 小嶋 友和
- ▽南信森林管理署治山課治山第一係長（岐阜署治山第一課治山第二係長） 島光 芳典
- ▽岐阜森林管理署治山第一課治山第二係長（岐阜署治山第二課岐阜西部治山事業所主任） 高村 健介
- ▽岐阜森林管理署治山第二課岐阜西部治山事業所主任（富山署治山課朝日治山事業所主任） 高橋 進
- ▽富山森林管理署治山課朝日治山事業所主任（富山署治山課治山第一係） 津野 雄一
- ▽南信森林管理署和田森林事務所森林官（南信署業務第一課経営係） 山本 千恵子
- ▽飛騨森林管理署治山課技術専門官（東濃署治山課治山第一係長） 中嶋 章
- ▽東濃森林管理署治山課治山第一係長（東濃署治山課治山第二係長） 宮地 源治
- ▽東濃森林管理署治山課治山第二係長（林野庁林政部林政課人事班秘書係） 奥田 紀子
- ▽北信森林管理署長野森林事務所首席森林官（北信署流域管理調整官） 平野 友行
- ▽北信森林管理署流域管理調整官（局指導普及課自然再生指導官（木曽森林環境保全ふれあいセンター）） 土屋 富二男
- ▽計画部指導普及課自然再生指導官（木曽森林環境保全ふれあいセンター）（局計画課森林施業調整官） 寺澤 茂雄
- ▽計画部計画課森林施業調整官（局企画調整室管理官兼計画課） 松井 栄
- ▽計画部国有林野管理課付（名古屋事務所）（局企画調整室管理官名古屋事務所） 坂田 金光
- ▽総務部総務課広報主任官（局総務課広報室広報主任官） 有井 寿美男
- ▽総務部総務課研修主任官（局総務課研修所研修主任官） 辻ノ内 良明
- ▽総務部職員厚生課安全衛生係長（局職員厚生課安全衛生推進室安全衛生係長） 林 満
- ▽総務部職員厚生課安全衛生係（局職員厚生課安全衛生推進室安全衛生係） 徳竹 朱実
- ▽計画部国有林野管理課計画処分係長（局国有林野管理課土地利活用室計画処分係長） 郷原 辰実
- ▽飛騨森林管理署治山課付（飛騨署治山課蒲田治山事業所主任） 宗廣 克徳
- ▽飛騨森林管理署治山課蒲田治山事業所主任（飛騨署治山課山事業所主任） 前田 秀則
- ▽飛騨森林管理署治山課庄川治山事業所主任（飛騨署治山課治山第一係） 須永 道彦
- ▽総務部職員厚生課共済組合係（局職員厚生課（名古屋事務所）） 筒井 康司
- ▽総務部職員厚生課（名古屋事務所）（豊橋森林事務所森林官（愛知森林管理事務所）） 鈴木 永江
- ▽豊橋森林事務所森林官（愛知森林管理事務所）（東濃署東股森林事務所） 日比野 慎也
- ▽計画部指導普及課（名古屋事務所）（岐阜署業務第一課森林ふれあい係長） 加藤 里実
- ▽岐阜森林管理署業務第一課森林ふれあい係長（飛騨署業務第一課森林ふれあい係長） 芹田 滋弘
- ▽計画部国有林野管理課計画処分係（局国有林野管理課企画係主幹（管理処担当愛知森林管理事務所）） 和田 昌樹
- ▽計画部国有林野管理課企画係主幹（管理処担当愛知森林管理事務所）（岐阜署業務第一課管理係長） 安田 智宏
- ▽岐阜森林管理署業務第一課管理係長（東濃署業務第一課管理係長） 橋本 圭介
- ▽東濃森林管理署業務第一課管理係長（富山署立山森林事務所森林官） 藤村 桂
- ▽富山森林管理署立山森林事務所森林官（中信署白馬森林事務所森林官） 寺島 史郎
- ▽中信森林管理署白馬森林事務所森林官（南信署大鹿森林事務所森林官） 依田 直紀
- ▽南信森林管理署大鹿森林事務所森林官（木曽署南木曽支署阿寺森林事務所） 佐野 智一
- ▽南信森林管理署上村森林事務所森林官（南信署伊那森林事務所森林官） 南坂 博和
- ▽南信森林管理署伊那森林事務所森林官併任（南信署伊那里森林事務所森林官） 宮路 聡
- ▽計画部国有林野管理課森林利用係（局国有林野管理課財産管理係） 下條 広道
- ▽中信森林管理署業務課経営係（中信署業務課管理係） 赤石 将宏
- ▽東信森林管理署佐久平森林事務所（東信署業務第一課経営係） 田中 健
- ▽木曽森林管理署瀬戸川森林事務所（木曽署業務第二課森林育成係） 谷脇 雅博
- ▽木曽森林管理署業務第二課森林育成係（木曽署業務第一課林育成係） 黒澤 友大
- ▽岐阜森林管理署治山第二課治山第一係（岐阜署治山第一課治山第二係） 乾 裕太

新規採用者

四月一日付

Ⅱ種採用

▽北信森林管理署業務課経営係

山下 結

▽東信森林管理署業務第一課経

営係 富元 雅史

▽木曽森林管理署業務第二課販

売係 湯浅 翠

▽岐阜森林管理署小坂森林事務

所 富士本 亜弥

Ⅲ種採用

▽中部森林管理局森林整備部販

売課(収獲担当愛知森林管理

事務所) 千村 知博

▽中信森林管理署治山課姫川治

山事業所 浅子 竜一

▽南信森林管理署業務第一課経

営係 岡崎 真吾

▽木曽森林管理署業務第一課経

営係 西方 雄一郎

▽木曽森林管理署南木曽支署業

務課販売係 松原 正志

▽飛騨森林管理署業務第一課経

営係 川久保 仁

▽東濃森林管理署東股森林事務

所 原田 剛克

▽退職(南信署)

赤羽 陽介

▽定年退職(局森林技術センタ

ー) 中川 敬子

▽定年退職(局企画調整室(名古屋

屋事務所) 朝倉 英子

▽定年退職(局経理課(名古屋事

務所) 高橋 貞夫

▽定年退職(局国有林野管理課

(名古屋事務所)

▽定年退職(東信署) 川田 竹男

▽定年退職(南信署) 井出 利松

▽定年退職(木曽署) 青木 清子

▽定年退職(飛騨署) 庄原 裕志

上 由記子

▽定年退職(飛騨署) 高田 富晴

▽定年退職(岐阜署) 青木 興榮

▽定年退職(東濃署) 船坂 益雄

▽定年退職(東濃署) 前川 信孝

▽定年退職(局職員厚生課) 石井 昇

基幹作業員職員人事

三月三十一日付

▽定年退職(愛知所) 田口 栄治

▽定年退職(愛知所) 鈴木 彰

▽定年退職(富山署) 中島 孝幸

▽定年退職(東信署) 菊池 富久

▽定年退職(木曽署) 奥原 太内

▽定年退職(木曽署) 寺田 勇

▽定年退職(南木曽支署)

古田 實信

▽定年退職(飛騨署) 渡邊 勇

▽定年退職(飛騨署) 梶野 光夫

▽定年退職(東濃署) 加地 希典



平成18年度 森林ふれあい講座

☆森林ふれあい講座は、森林とふれあい・森林の魅力を満喫していただくために、一般の方々を対象にした講座です。たくさんのご応募をお待ちしております。

回	実施月日	講座名	講師	会場	募集人数	備考
1	4月 8日(土) 10:00~12:00	しいたけの菌打ち体験と「しいたけ」について学ぼう	外部講師	名古屋市熱田区 名古屋事務所	30名	熱田生涯学習センター共催
2	5月 20日(土) 8:30~16:30	湿原の植物を観察し 森林浴を楽しもう!	中部森林管理局 元島技術開発主任官	愛知県豊橋市 葦毛湿原	20名	熱田生涯学習センター共催 交通費・保険料等で1,000円の 参加費を徴収
3	6月 10日(土) 18:30~	蛍の話とゲンジボタルを 観賞しよう!	定光寺ほたるの里の会 会長 加藤 収 氏	愛知県瀬戸市 ほたるの里	50名	
4	7月 23日(日) 10:00~14:00	こども樹木博士に チャレンジ!!	外部講師	瀬戸市瀬戸国有林 森林交流館	20名	
5	8月 20日(日) 10:00~12:00	森のクラフトと紙芝居で 学ぶ森林の大切さ	名古屋事務所職員	名古屋市熱田区 名古屋事務所	20名	熱田生涯学習センター共催
6	10月 1日(日) 10:00~14:00	自然を体感! ネイチャーゲーム を楽しもう	愛知県 ネイチャーゲーム協会 理事長 青山 裕子 氏	名古屋市熱田区 名古屋事務所	20名	
7	11月 18日(土) 10:00~12:00	鑑賞炭づくりと 炭のパワーを知ろう	名古屋事務所職員	瀬戸市瀬戸国有林 森林交流館	20名	
8	12月 2日(土) 10:00~12:00	自然の物を素材に 手作りリースに挑戦!!	元名古屋営林支局職員 小林 宣子 氏	名古屋市熱田区 名古屋事務所	20名	材料費・保険料等で500円の 参加費を徴収

平成十七年度

治山事業連絡調整会議を開催

〔治山課〕三月十三日に中部森林管理局局長応接室にて平成十七年度中部森林管理局管内合同治山事業連絡調整会議が開催されました。

これは、昨年十一月の林野庁長官通達に基づき、各県毎に局が主催して、
① 民有林と国有林の治山担当者双方が、治山対策の進め方について共通の認識を持ち、必要に応じて事業を調整しながら効果的かつ効率的に治山対策を進めていく。

② 山地災害の発生時には、双方の被害状況を速やかに共有して、二次災害の防止等に向けて民有林と国有林が共同して対応していくことが重要であることから、地域の治山事業についての連絡・調整、山地災害発生時の相互の迅速な情報連絡体制の構築等を図ること。

を目的として今年度から新たに開催されることとなったものです。

当局の場合、管内各県の地形・地質条件に類似点が多く、河川の上下流の連携等も考えられること、局管内が四県と比較的まとまりが良く、類似課題も多いことが考えられることから、局において合同で実施することとなりました。



会議の様子

会議には、富山、長野、岐阜、愛知の各県治山担当者が出席し、高畑森林整備部長から主催者挨拶が行われた後、治山課長から主旨説明、その後、設置要領(案)の合議、局の取組事項、各県の取組事項等について各担当から説明が行われ、活発な意見交換が行われました。

初めての開催となった今回の調整会議ですが、各県の民有林治山事業の来年度の実施予定や技術的取組状況について情報交換が図られ、日頃、あまり情報交換が行われていなかった県の状況についても意思疎通が図られるきっかけとなり、今後の更なる連携に見通しがつきました。

今回の調整会議は、今回の実施結果を踏まえ、参加県の意見を参考に十八年度の秋頃に開催される見込みです。

各地からのたより

シンポジウム
環白山進歩自由夢が

開催される

〔飛騨署〕三月十八・十九日の両日、石川県白山市白峰で、「交流の輪が白山の未来を築く」と題してシンポジウムが開催されました。

日本三名山の白山は、石川県、岐阜県、福井県、富山県にまたがっており、利用者にとってはひとつの白山であります。いままで連携した取り組みがなされていないことから、地元環境省白山自然保護官等の呼びかけにより地域の関係者が協力し実施されました。

この取り組みは、たぐいまれな自然、景観、文化に恵まれた環白山地域の健全な保全と、それらとの調和を図りながら地域の振興を図っていくため、環白山地域の様々な機関や組織が連携協同し、調査研究や事業等を継続的に実施することで、自律した環白山地域としての基盤確立と未来への継承を目的とするものです。

シンポジウムでは、一目目、環白山のあるもの探し発表会として、福井県小原地区、岐阜県石徹白地区及び平瀬地区、石川県白峰地区のそれぞれ四つの地域の歴史や風習等の調査活動の成果披露があり、今後、環白山地域が連携しエコツー

リズムの取り組みに繋げることとしていきます。

二日目は、環白山保護利用管理協会設立準備委員会総会があり、環境省、石川・飛騨両森林管理署、金沢河川国道事務所、石川・福井・岐阜・富山の四県や関係市町村、金沢工業大学、観光協会、NPO団体の関係者等が参加し、準備委員会会長に環境省中部地方事務所国立公園・保全整備課長の千田純子氏を、副会長にトヨタ白川郷自然学校長の稲本正氏らを選出し、今後協会の設立、エコツアーの実施、登山道整備や植生の保全再生事業等を行うこととしています。

パネルディスカッションでは、望ましい環白山地域づくりのための取り組みとしてのエコツーリズムとエコツアーなどについての意見交換が行われました。

白山国立公園の六十七%が国有林であり、当署としても地域の方々の協力なしには白山の自然環境の保全が図れないことから、この取り組みを通じて環白山地域が活性化するよう、どれだけでも手助けができればと考えています。



シンポジウムの様子

「森林環境管理保全協定」の締結

「飛騨署」三月十五日、飛騨市役所市長室で飛騨市長と飛騨署長が出席して「森林環境管理保全協定」調印式を行いました。

飛騨市が取り組んでいる「ふるさとを守る森林環境の整備」を進めるため、飛騨市及び飛騨署はそれぞれの業務を通じて得た情報を相互に提供することにより、飛騨市内の森林環境の管理保全を図ることを目的としたものです。

飛騨市では民有林の〇・五％以上の皆伐の事前届出制が規則で定められていますが、昨年森林官が国有林の巡視の途中で、市で把握していない民有林の伐採情報を市役所へ提供したことがきっかけとなり、市役所より情報提供の協力要請がありました。

飛騨市の森林の二十三％を有する国有林はこれまでも市役所と情報交換は行っていますが、これを機会にさらに情報連絡体制を整え協力することとしたものです。

協定では、森林の立木の不適正な伐採、林道や作業道の破損、廃棄物の不法投棄、有害鳥獣等について、それぞれ情報提供、指導や助言、協力に努めるとの内容です。

市長より「飛騨市は森林整備日本一を目指しており、民有林の積極的な森林整備を行っているので国有林も協力して欲

しい。」との要請に対し、飛騨署長は「適正な森林管理により下流域住民が安心して生活できるよう、情報提供の外、森林の合同パトロールや技術交流を実施したい。」と抱負を述べました。



協定を締結した船坂市長と眞田署長

しいたけの菌打ち体験としいたけについて学ぼう

「名古屋事務所」四月八日、平成十八年度「第一回森林ふれあい講座」を開催しました。同講座は、森林とのふれあいや交流を深めて、森林・林業を取り巻く環境について考えてもらおうと年八回計画しているものです。

今回は名古屋市民の方に、より多く参加してもらおうと、場所を名古屋事務所にし、熱田生涯学習センターと共催で実施しました。名古屋市の瀬戸市・尾張旭市などから定員三十名を大きく上回る五十四名の応募がありました。

当日は風が強く、雨雲の通過による天気も心配しながら、事務所に隣接する郷土の森において作業を行いました。

森林整備によって伐倒されたコナラの木をプランターでも栽培出来るようにノコギリで長さ四十五センチメートルに玉切り、電気ドリルで穴を開け、しいたけ菌を培養した「種駒」と呼ばれる菌を金槌で一つひとついいねいに埋め込んでいきました。

作業の後会場を会議室に移動し、管理方法や発生時期など、たくさん質問を受けながら座学でしいたけについて学びました。

参加者のなかには、家族連れが多く、「しいたけが発芽してくるのがとても楽しみだ」と大切そうに菌を打ち込んだ原木を持ち帰りました。

なお、当日の様子は名古屋地区のケーブルテレビでも放映されました。



玉切りの様子

記念市に優良材出品

「岐阜署」四月十二日、下呂市乗政、下呂総合市売協同組合において「第五十七回全国植樹祭特別記念市」が岐阜県、下呂市、岐阜署外、多数の来賓の出席の下、約三百名の来場者のなか、盛大に開催されました。

五月二十一日には、第五十七回全国植樹祭が下呂市萩原町地内で開催されることから、当署としても国有林材のPRを兼ね委託販売材として出品したところでした。優良材の表彰もあり、当署の出品材も「下呂総合木材市売協業組合理事長賞」を受賞したところで。

今回の出品材は、人工林ヒノキ一五年生（小黒川ミソスリ材）、四尺上材約二十立方メートルを出品し高値では一立方メートル当たり八万円、平均では一立方メートル当たり四万円とまずまずの販売結果が得られました。

国有林材のPR、需要拡大に向け今後より良い素材生産に取り組みたいと考えています。



出品材の人工林ヒノキ